

事例から学ぶ 税務の核心

～ひたむきな税理士たちの研鑽会～

<第80回> 3月決算申告についての注意事項

大阪勉強会グループ 著

(濱田康宏・岡野訓・内藤忠大・白井一馬・村木慎吾)

[前回(第79回)は No3748 (令和5年4月10日号) に掲載いたしました。]

令和5年3月期決算における注意事項について確認してみた。意外に改正点や変更点が少なくないので、実務で落とし穴にはまらないよう、注意しておきたい。

1 はじめに

濱田) 令和5年3月

いて確認してみましょうか。

白井) グループ通算制度は除いて、単体課税に限っての検討ということですね。

内藤) 近年の改正は、施行時期がずれていて、

申告の手引

濱田) まず、最初に確認しておくべきは、国税庁が出している資料ですね。

内藤) 各年度で「法人税のあらましと申告の月期だと、令

sample

sample

sample

岡野) 別表様式も、いつの間にか変わってたりして、ちょっとびっくりです。

村木) これから繁忙期に入りますので、別表の変更点を中心に、直前で知識整理しておきたいですね。

・「令和4年版 法人税のあらましと申告の手引」(令和4年12月)

<https://www.nta.go.jp/publication/pamph/hojin/aramashi2022/pdf/01.pdf>

sample

sample

sample

ポイント

年度用のものを選択する点を忘れない。

・「中小企業者の判定等フロー」(令和4年12月)

<https://www.nta.go.jp/publication/pamph/hojin/aramashi2022/pdf/03.pdf>

白井) この令和4年版は、これまでのものと

法人税

所得税

源泉税

消費税

国際課税

相続贈与

税

裁判裁決

その他